

いのちとこころの支援センターは「自殺予防・自殺対策の専門相談機関」です

毎日暑い日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

夏の暑さにも負けず、気持ちのいい汗をかいて夏を元気に健康に過ごしていきたいですね。

<新潟県の自殺の現状について>

厚生労働省の「人口動態統計」によると、平成26年の新潟県の自殺者数は542人。

自殺死亡率は23.5で、全国ワースト4位となりました。平成25年のワースト3位から順位は1位上がったものの、いまだに深刻な状態と言えます。

男性は働き盛り世代の自殺が多く、女性は高齢者の自殺が多いのが特徴です。

原因・動機別では①健康問題（49%）、②家庭問題（16%）、③経済・生活問題（15%）の順で割合が高くなっています。

当センターでも、働き盛りの男性の相談や、高齢者の相談が多く、また精神疾患等の健康問題を抱える相談者が多いです。話を傾聴しながら、関係づくりを行い、関係者とともに低め安定であっても生きていくことに伴走できているケースも多いです。

一方で、関係機関からかなりリスクの高い方をつないでいただけるようになってきており、自殺対策の専門機関としてハイリスク者への相談支援をより一層充実させ、今後も自殺対策に取り組んでいきたいと思ひます。



<研修会報告>

6月5日に、いのちとこころの支援センター専門相談員等研修会に参加しました。

新潟県立大学人間生活学部子ども学科講師の勝又陽太郎先生による講義「ハイリスク者への基本的対応 関係づくりー見立てー介入」を受け、事例検討を行いました。

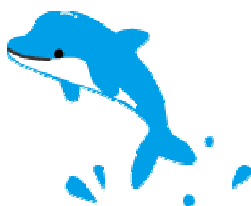
慢性的な自殺傾向への関わり方についてや、アセスメントの基本について改めて学ぶ良い機会となりました。

「自殺傾向のマネジメントの目標は、慢性の自殺傾向に対して急性の自殺傾向に移行するリスクを減少させること」との先生の言葉が印象に残りました。

リピーターの相談者には慢性の自殺傾向の方が多く、現在（いま、ここ）に適應することを支援し、長い目で変化をみていきたいと思ひます。



ご連絡お待ち
しています。



下越地域いのちとこころの支援センター

電話番号：0254-28-8880

受付時間：平日8：30～17：15

場 所：〒957-8511 新発田市豊町3丁目3-2
(新発田地域振興局 2F)